

ウナギの完全養殖に向け加速

ニッスイとし新日本科学はウナギの人口種苗の大量生産技術開発に関する共同研究を進めています。ニッスイは07年に既に人口種苗生産に成功していますが、採算の目途が立たず研究を中断していました。一方、新日本科学は14年に成功。現在も大量生産技術開発を続けています。両社がタッグを組むことで、完全養殖の実現に向けて加速しています。

マグロ養殖に変化

マグロ養殖業に変化。天然マグロの資源回復を受け、人口種苗から育てる養殖（完全養殖）が大幅に減少、天然資源（幼魚）を育てる（畜養）にシフトしています。環境負荷低減が目的でしたが、コストが圧倒的に高く採算性が低く廃業する業者もいます。



入荷状況

5月
★タイ
カレイ類
★毛ガニ
サワラ(サゴシ)
サヨリ
★トリ貝
6月
スズキ
トビウオ
★岩カキ
メジ
フクラギ(ブリの幼魚)
★アカイカ
★スルメ



タイ

九州、関西方面からも潤沢に入荷。地物は安価ですが品質は今一つ。

毛ガニ、ベニズワイガニ

県内各産地から順調に入荷中です。ベニズワイガニが値ごろ感あり。

岩カキ(夏カキ)

三重などから入荷し始めています。8月末までが漁期です。3L(500g)サイズです。(能登産)

アカイカ、スルメイカ

九州からアカイカの入荷が増えてきます。スルメイカは入荷あるも高値。

ハモ

愛媛産、関西圏からの入荷です。韓国産は脂ののりが良いとされ高値。徐々に入荷しています。

トリ貝

地物は例年、入荷少なく高値です。

甘エビ

脱皮の時期も終盤か。かなり品質改善も不安定です。要注意です。

詳しくは営業担当まで
お問い合わせください。